

【編集後記】「非常用電源」

地震や台風などの災害時に停電はつきものである。したがって非常用電源が必要になる。ところが、その非常用電源がいざという時、使えない、役に立たない、そんな事例が少なくない。浸水で地下に置いた非常用電源装置が動かなくなった、燃料パイプが地震で切断されてしまった、タコ足配線で容量オーバーになってしまった、といった話をこれまでに何度も聞いた。

電気がなければ現代の社会は機能しない。災害対策にも大きな支障が出る。このたびの非常用電源の確保に関する消防庁の緊急調査に応え、自治体の非常用電源のチェックと整備が進むことを期待している。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2015年12月号（通巻5号）

■発行日 平成27年12月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 佐野 忠史

〒105—0001 東京都港区虎ノ門2—9—16（日本消防会館内）

TEL 03 (3591) 7123 FAX 03 (3591) 7130

URL <http://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社